

ど の し た 淵

【令和4年度スタート】

3月20日令和4年度総会が開催され、事業計画・予算等が原案通り承認されました。役員は次の通りです。

令和4年度役員

◆会長	三腰 善行
◆副会長(会計)	三腰 栄治
◆班長	1班 本田 勇二
	2班 肝付 兼文
	3班 大平 安治
	4班 三腰 真吾
	5班 大平 勝子
◆体育係	三腰 史宏
◆監事	川平 光広・大平 剛司
◆代議員	三腰 克己
	本田 啓二
	帖佐 勝彦
◆地域支え合い推進員	松下 京子
◆健康づくり推進員	三腰 都
◆農協総代	三腰 修一
◆農政連代議員	本田 勇二
◆芸能保存会長・共済評価員は公民会長兼務	

よろしくお願いいたします。



発行責任者

高峯公民会長

三腰 善行

090-1089-9432

令和4年4月1日発行

【令和4年度活動方針等について】

今年度のテーマは『お・た・が・い・さ・あ』『スローガンは『ありがとう！次は私も頑張る輪』です。

地域を創る・興すのは役員でも特定の個人でもありません。地域に住む全員がその担い手です。一人一人の出来る事・力量は違います。だからこそ皆で協力してお互いを支え合いながら実行する事が重要です。令和4年度も共生・協働の精神で『出来る人が・出来る事を・できる時に・出来る範囲で』をベースに『お・た・が・い・さ・あ』の心で頑張ります。そして感謝の気持ちを忘れず、次は自分自身も頑張つて、協働の輪を広げていきましょう。

【ボランティアの日設定】

4・7・10・1月の第3日曜日をボランティアの日とし、環境整備や公に供する事に取り組みます。1回目の4月17日は高規格道路の泊野インター付近の除草作業を行います。インターから乗降される方々が気持ちよく往来できるようにです。

泊野にインターが2か所あることはとても重要なことです。地域振興の鍵になると思います。この場所をどう活かすかはそこに住む人々の知恵・アイデア・仕掛け次第です。何もしなければ単なる通過点になるだけです。泊野の魅力発信口としてインターを活かしていきたいものです。



たかね寺小屋く持続可能な地域づくり

【リサイクル率】

令和2年度の、さつま町での一般廃棄物(ごみ)を資源として再生利用したリサイクル率は、22.6%でした。町の計画では、令和3年度のリサイクル率の達成目標を20%に設定していましたが、令和元年度から生ごみの分別が始まったことにより目標年度より早く達成されました。かといってこれでおてちていたらいけません。鹿児島県のリサイクル率の平均は16.2%ですが、県内には全国1位の率を誇る町があります。大崎町です。そのリサイクル率は何と82.6%です。志布志市は第4位で76.1%です。(いずれも令和元年度データ)両自治体には焼却施設がないためすべてのごみを埋め立て処分しなければならず、埋め立て処分場の延命のために、ごみの分別徹底、減量化がすすめられているのです。やればできるってことです。本町も焼却処分後の灰は埋め立てているので、いつかは埋め立て処分場が満杯になるのです。そしたらまた、次の処分場の場所を探し焼却施設の建設に多額の資金を投じなければならぬのです。

分別徹底・減量化大切です。

【鶴小廃棄パイプ椅子もらってきました】

新設鶴田小学校の開校に伴う引っ越し作業に駆り出された際に、廃棄物の処理作業に回ったら、旧小学校から大量に廃棄されたパイプ椅子の解体中でした。まだまだ使えそうだったので幾つかもらってきて、公民館のプレハブ倉庫に入れてあります。サロンのG・Gや外作業の時に使ってください。(水・雨に打たれるとビニール裏の合板がうつがれるのでご注意を)

また、そのプレハブ倉庫の外側に育成会でペイントをしていただき、とってもカラフルで賑やかな倉庫に変身する予定です。みんなで出来る事をやっていけば大きな成果を導き出すことが出来ます。何が必要か、出来る事は無いか日々ネタ探しをしながら気を付けていることが大切です。

『思ひて学ばざれば則ち殆(あやう)し』ではないですが『思わざれば及ばざるがごとし』と思っております。思いを抱き考え続けなければ何も始まらないし及ばない・達成できないと思います。気づくことの大切さに気付くことです。



【花見自粛】

総会時に今年度も花見は自粛した方がよくないかということになりました。公民館のサクラも散り始めましたが、来年こそは皆で集まれたらいいですね。JAさんから花見用にと言うことで焼酎を2本頂きました。紙面花見でかんぱい！



公民館の桜 < 3 / 3 1 >



【各種工事完成・着手】

兼ねてより徳丸建設が施工中だった砂防ダム関連工事の年度内工事が終了しました。徳丸さんは引き続き河川災害復旧工事(2か所)を受注されたとのことで、現場事務所はそのままでそうです。どのした淵隣の地の整地もしていただきました。

また、渡利建設が施工した504号の舗装工事も終わったのかな? 渡利建設からは焼酎(2本)を頂いています。昨年7月豪雨の災害復旧は未着手箇所が多くありますが、早期復旧と併せてインフラ整備が進むことを願ってやみません。



編集後記「田の神やあつひつとや」

人間『石』に興味が湧きたらおしまいだと言うことを聞きますが。最近というか昔から、自然・天然の物。特に木とか石に興味があり惹かれます。

と言うことで我が家の庭先に石灯籠を据えました。家を改築(平成13年)してからずっと石灯籠が欲しいなあという夢を思い描いていまして、この度やっと据えることになりました。『石灯籠』は名の通り石造りの灯籠です。宝珠、笠、火袋(ひぶくろ)、中台、竿と脚石、台石の基礎の部分からなり、中国、朝鮮の古代の形式が仏教とともに日本に伝わったと言われています。多くは自然石を加工しますが、そのまま利用したものもあります。社寺の前に据えて灯火をともし、また庭園などに置いて飾りとする等、その用途によって種類が極めて多く、春日(かすが)・雪見・遠州・綾部などがあるそうです。夜に火袋に蠟燭をとすると中々の趣です。



施工…梅樹造園

